

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: 介護とリハビリテーション			担当教員 氏名: 松原 良子、松尾 祐子、鷹西 恒、上野 裕一、毛利 亘		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 介護支援専門員・介護福祉士・社会福祉士・作業療法士・福祉用具専門員・認知症専門棟相談員としての実務経験を活かして、高齢者の介護やリハビリテーションについて教える内容を授業に含めている。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
高齢者及び障害者の生活を支える介護とリハビリテーションの基礎知識を学ぶ。利用者の個別性を考えた援助、根拠に基づく自立に向けた実践的な介護技術を学びます。					生活の質、リハビリテーション、アセスメント、生活支援技術、ボディメカズム
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力		介護とリハビリテーションに必要な知識と技術を習得する。			
B 専門的技術		介護技術とリハビリテーションに必要な技術を理解する。			
C 論理的思考力		根拠に基づいた安全・安楽な方法を理解する。			
H コミュニケーション力		介護の場面における適切なコミュニケーション力を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 50 %	発表: 10 %	実技試験: 40 %	その他: %	
特記事項: 実技の時は動きやすい服装 アクティブラーニングの一環として、グループワークや発表を行う。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> <u>ディベート</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間レポートと期末レポート、実技の発表					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートはコメントと評価を付けて返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【松原】介護とは			介護について	復習120分	
②【松原】介護とは			介護について	復習120分	
③【松尾】介護の基本的なコミュニケーション			在宅ケアについて	復習120分	
④【鷹西】住宅・福祉用具に関する知識			住宅・福祉用具について	復習120分	
⑤【上野】リハビリテーションとは			リハビリテーションについて	復習120分	
⑥【上野】障害の程度とその影響			障害について	復習120分	
⑦【上野】障害の程度とその影響			障害について	復習120分	
⑧【上野】リハビリテーションの展開			まとめ	復習120分	
⑨【毛利】環境の整備とベットのメイキング			環境とベットのメイキング	復習120分	
⑩【毛利】移動・移乗の介護			移動と移乗	復習120分	
⑪【毛利】着脱介護			着脱介護	復習120分	
⑫【毛利】食事介護			食事介護	復習120分	
⑬【毛利】食事介護			食事介護	復習120分	
⑭【毛利】清潔の介護			清潔保持	復習120分	
⑮【毛利】まとめ			介護技術についてまとめる	復習120分	
使用テキスト: なし 適時プリント配布			その他参考文献など: 『ケアの本質-いきることの意味』 ミルトン・メイヤロフ ゆるみ出版		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):					